

センス・オブ・ワンダー

主幹教諭 坪池 享子

天気の良い日に3階の教室の窓から外を眺めたり屋上プールに上がったりとすると、住宅街の向こうに薄っすらと丹沢の山並みが見え、富士山を眺めることができます。本校では、学区にある鈴木さんの畑で採れた野菜を給食の食材として使用したり、(食育の一環として毎年とうもろこしやそらまめの皮むきを低学年が体験しますが、コロナ渦のため自粛中です。)3年生が社会科の学習で農家を訪ねたり、4年生が総合の学習で本校の近くを流れる玉川上水について調べたりしています。東京の真ん中にいながら、自然を身近に感じることができます。

地球環境への警告を発したアメリカの作家、レイチェル・カーソン(1907~1964)は、私たちへの最後のメッセージとして「センス・オブ・ワンダー」(神秘さや不思議さに目を見張る感性)という本を残しています。この本の一節に、次のような文章があります。

子供たちの世界は、いつも生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激にみちあふれています。子供の「センス・オブ・ワンダー」をいつも新鮮にたもちつづけるためには、わたしたちが住んでいる世界のよろこび、感激、神秘などを子供といっしょに再発見し、感動を分かち合ってくれる大人が、すくなくともひとり、そばにいる必要があります。

もし、あなた自身は自然への知識をほんのすこししかもっていないと感じていたとしても、親として、たくさんの子供にしてやるすることができます。たとえば、子供といっしょに空を見あげてみましょう。そこには夜明けや黄昏の美しさがあり、流れる雲、夜空にまたたく星があります。子供といっしょに風の音を聞くこともできます。

ふじみがおか

杉並区立富士見丘小学校

Fujimigaoka
Elementary school



校長 竹内 明子

令和4年夏休み直前号



登校時、昇降口で挨拶をしながら子供を迎えていると、「先生！！」と言ってよく話しかけられます。育てているあさがおが初めて花を咲かせたことを報告してくれる時もあればその子にとって印象に残った出来事を伝えてくれたりする時もあります。そんな時は必ずその子の思いを汲んで言葉を返すようにしています。子供の感性を豊かにするためには、近くにいる大人が子供と同じ目線で、子供が興味を示したものに「面白いね。」「きれいだね。」と共感することが大切です。

長い夏休みに入ります。時にはほんの少し時間を割いて、暑さが本格化しない朝や夕方にご家族で自然にふれ、親子で感じたことを言葉に出して共有してはいかがでしょうか。杉並区あるいはその周辺には、そんな自然を感じることができる場所がまだ残されています。子供たちの豊かな心の成長には、「センス・オブ・ワンダー」が必要です。

1学期の教育活動に対するご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。9月1日に元気な子供たちと会えることを楽しみにしています。

夏休みに向けて

生活指導主任 佐々木廣継

あ あんぜん第一

自転車の乗り方、交通マナー、また道の安全な歩行の仕方など、一人一人が意識して守ることで、安全で安心した生活ができます。また、携帯電話、スマートフォン、パソコンなどは、事件や事故の被害者・加害者のならないためにも、ルールを守って賢く使うように、ご家庭でもよく話し合ってください。

い 「いかのおすし」の合言葉

「安全な生活」と「自分で自分の命」を守る手立ての1つとして、防犯意識をもたせるこの合言葉を話題にしてください。

う うれしい夏休み

いよいよ、子供たちの大好きなうれしい夏休みです。好きなことをとことん追究する、読書をして心に栄養をつける、苦手なことを克服する、家族の一員としてお手伝いをやり通すなど、様々なことに挑戦ができます。事前に家族でよく話し合っ、めあてをもち、計画が立てられるようお声掛けください。

え えがおであいさつ

あいさつは、相手と心を通わせる第一歩です。夏休みに入っても、あいさつは、いつでもどこでも誰とでも、です。家族、友達、地域の方々、お世話になっている人、久しぶりに会う人、出掛けた先で出会う人など、多くの方々と心を通わせるあいさつができるように、習慣化させていきましょう。

お お金を持たずに、水筒と防犯ブザー

子供だけで繁華街や学区外に出掛けることや、学区内でもお金を持って遊ぶことを、学校は禁じています。お金ではなく、水筒と防犯ブザーを持って、帽子を被って学区内で遊びましょう。行き先、遊ぶ相手、帰る時刻を伝える習慣を今一度徹底してください。